



# 音楽コンクール「完全実施」 2年ぶり、感染防止策を徹底

第41回音楽コンクールが2月

3月、仙台市泉区の仙台銀行ホール イズミティ21の小ホールで行われた。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大、全国一斉の休校措置等により、予選だけで本選は見送られており、完全開催は2年ぶり。直前、東日



ピアノ部門・本選



ヴァイオリン部門・本選

本大震災の大きな余震に見舞われたり、宮城・仙台が独自のコロナ緊急事態宣言を発出したりで危うい局面もあったが、目配りを尽くし完遂した。

ピアノ部門は予選2月21日、本選3月21日、ヴァイオリン部門が予選2月14日、本選3月14日の日程で開催。応募者はピアノ159人(前年140人)、ヴァイオリン58人(同60人)と、総数で前年を上回った。過去最多を記録したピアノ部門を中心にコロ

ナ禍を乗り越えての開催に強い支持を得た格好だ。

感染防止の徹底を図った。ホールへの入場は出場者と関係者(付き添いの指導者ら)1人に限る無観客を断行。審査結果は翌日、協会のホームページで発表することにし、参加者が演奏終了後、会場にとどまらないよう工夫した。表彰式も見送った。

例年と異なる運営となったが、コロナ禍で練習の成果を発表する機会が限られ、貴重な「舞台」となるだけに、出場者は神経を集中させて演奏に臨んだ。緊張しつつも、力を発揮した参加者は満足げ。技量の現在地を確認するとともに、音楽を学ぶ者同士、互いに刺激を与え合い、さらなる精進、成長の弾みにもなったようだ。

コンクールは洋楽部主管で第

## 柏原氏、名誉会員と協会の発展に寄与

3月22日に開かれた令和2年度第5回理事会で、文芸部の柏原眠雨さん(仙台市)が名誉会員に推薦され、本人の承諾により、4月1日付で就任した。

柏原さんは元理事。参事に遇されており、運営規程に基づき、

「満85歳に達した」のを機に、功績顕著として推薦された。東北大名誉教授(哲学)。俳人で俳誌『きたごち』を主宰。宮城県芸術選奨、俳人協会賞を受賞するなど、芸術文化と協会の発展に寄与した。

## 新副部長

【洋楽部】市川恵美

## 新運営委員

- 【絵画部】松宮崇典、山口優子
- 【工芸部】小川和子
- 【書道部】伊澤香雨、一條紅蕭、丸藤紫苑
- 【洋楽部】青田知子、渡辺真理
- 【文芸部】佐藤淑子
- 【写真部】白旗成典

57回宮城県芸術祭の一環。人材育成が主たる目的だ。気の休まらない状況の中、会議を重ねて準備から本番へ、長丁場の催事をトラブルもなく、無事やり終えたことに安堵感が広がった。実行委員らは「(本選中止の)昨年への二の舞を避けられ、ほっ

に参加する資格を得た。者ら各級上位3名は日本室内楽ピアノコンクール本選(東京)

ヴァイオリン部門 各クラス受賞者			ピアノ部門 各クラス受賞者		
級	賞名	氏名	級	賞名	氏名
初級	最優秀賞	佐藤 智道	初級A	最優秀賞	菅原 花
	優秀賞	三塚 はるか		優秀賞	菅原 花
	奨励賞	菊地 栄輝		奨励賞	宝福 沙瑛花
中級	最優秀賞	スルサー 蒼天	初級B	奨励賞	山本 蒼和
	優秀賞	江川 愛水		最優秀賞	山本 蒼和
	奨励賞	大友 瑛葉		優秀賞	長田 拓磨
上級	最優秀賞	引地 瑛大	初級A	奨励賞	安達 野々花
	優秀賞	木村 魁		優秀賞	安達 野々花
	奨励賞	八十川 欽		奨励賞	庄森 川幸
総合及び審査員特別賞			初級B	奨励賞	松上 松咲
賞名	クラス	氏名		奨励賞	松上 松咲
宮城県芸術協会賞	初級	佐藤 智道		作曲者賞	渡邊 拓磨
河北新報社賞	中級	スルサー 蒼天	作曲者賞	長田 拓磨	
(公財)宮城県文化振興財団賞	上級	引地 瑛大	作曲者賞	蝦名 美羽	
宮城県教育委員会教育長賞	上級	木村 魁	作曲者賞	安達 野々花	
仙台市教育委員会教育長賞	初級	三塚 はるか	作曲者賞	安達 野々花	
(公財)仙台市市民文化事業団賞	上級	八十川 欽	作曲者賞	桑折 友菜	
きらきら星コンクール			中級A	最優秀賞	阿蘇 拓真
きらきら星特別賞・仙台市長賞	高橋 智彰	中級A		優秀賞	阿蘇 拓真
きらきら星奨励賞	尾形 晴愛			奨励賞	菅原 花
きらきら星奨励賞	丹野 李咲		奨励賞	菅原 花	
ツイゴイナーワイゼンコンクール			初級B	最優秀賞	桑折 友菜
最優秀サラーテ賞・宮城県知事賞	宮下 琳太郎	初級B		優秀賞	阿蘇 拓真
社のホスピタル・あおば奨励賞	砂原 千聡			奨励賞	阿蘇 拓真
優秀賞	砂原 千聡		奨励賞	阿蘇 拓真	
特別賞			上級A	最優秀賞	早津 夏希
賞名	クラス	氏名		最優秀賞	早津 夏希
宮城県芸術協会賞	上級B	桑折 友菜		優秀賞	早津 夏希
宮城県知事賞	上級A	渡邊 凛	優秀賞	早津 夏希	
仙台市長賞	初級B	杉山 美功哉	奨励賞	三	
河北新報社賞	中級A	早津 夏希	奨励賞	三	

新入会員45人 理事会で承認

令和3年度の新人会員が3、4月に開かれた理事会で承認された。総数は9部門45人で、前年度の48人を下回った。社会の変化も受

けて、会員獲得は難しさを増しており、本年度は目標を50人(前年度60人)に引き下げた。会員の維持、拡大は協会運営万般の基盤だけに、引き続き組織を挙げて新規会員の勧誘、働き掛けに努めたい。

令和3年度新入正会員名簿 table with columns: 部門, 氏名(本名), 住所. Includes departments like 絵画部, 華道部, 洋楽部, etc.

白石で音楽の響き 2年越し、ミュージックフェスタ

「みやぎミュージックフェスタ in しろいし」が3月27日、白石市のホワイトキューブで開かれた。当協会、白石市など4団体の共催。昨年、コロナ禍で見送りになっており、2年越しの開催となった。

昨年同様、「しろいしに花咲く音の響き」「白石音楽家と芸術協会による演奏」「白石の未来へと響く歌声」の3部構成。当協会の渡部勝彦執行理事と若柳梅京理事が進行役を務めた。地元の音楽愛好家や団体が多数出演。大半、渡部執行理事が指揮を務め、芸術協会による独奏、独唱、管弦楽団の演奏がフェスタの盛り上げを支えた。ホワイトキューブ合唱団が管弦楽団の演奏で、東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」や八島秀洋楽部長編曲の「白石子守歌」などを披露、締めくくった。ホールにはマスクの花が咲き、観客が心の中で合唱する形で幕を閉じたが、震災10年にも思いをはせつつ、手づくりの多彩で芳醇な音の響きを満喫した。



追悼 成瀬忠行先生を偲んで

元理事長(絵画部) 早坂貞彦



宮城県芸術協会の第5代理事長で名誉会員の成瀬忠行氏は3月10日、96歳の天寿を全うされ帰天されました。終生仙台の地にあつて、80年間を現役の現代画家として作品を内外に発表。当協会の運営をはじめ、成瀬美術館を創設されるなど、本県の芸術文化振興に力を注がれました。昭和26年、かねて画家志望だった成瀬氏は、仙台に戦後の新しい絵画を「旗印」とする「新現会」に共感し、1回展に加わるとともに、中央では在野の二紀展に出品されます。地方にありながら、新しい絵画を目指す現代画家への一歩でした。

画道80年の経歴をたどれば、二紀展審査委員、河北美術展参与、県芸協名誉会員、新現美術協会、成瀬美術館記念館館主を務め、仙台市、宮城県、文化庁における各文化功労賞、河北文化賞、タイ王室よりの叙勲等、多くの榮譽に浴し、まさに巨匠にふさわしい足跡です。当協会における功績の第一は、芸術の社団法人化と韓国・大邱広域市、中国・吉林省や国内外の地域、団体等との交流の開始です。会員数も2、500余人に上り、「開かれた芸術」の隆盛期を築かれました。数々の偉業で知られる成瀬氏ですが、画風は巧みや精緻の形容を超越し、生き方も画道一筋とは異にしており、絵画、家庭、会社(仕事)のいずれにも誠実に向き合う、全てにおおらかで、温かく、親しみ深い人間像が浮かびます。あらゆる行為はクリスチャンとして打算のない誠の愛に貫かれていたのです。

日曜日に国見(仙台市)の成瀬美術館を訪ねれば、そこで氏の全てに出会うことができます。館に掲げられた一文に「東北の中でも、とりわけ官も民も芸術文化を大切に思わないこれまでの郷土宮城に芸術の風を吹かせることが私の仕事です」とあります。

宣言にも思われるこの詞が私共への遺言となりました。引き続き意思を固めつつ、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 令和3年度事業計画

### (1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

本協会を中心とし、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団、公益財団法人仙台市市民文化事業団の8団体共催により、本年度で58回目となる宮城県芸術祭を開催する。

芸術祭開催期間は9月25日(土)の開会式(会場：せんだいメディアテーク)から、11月25日(木)の表彰式(会場：ホテルメトロポリタン仙台)を経て、翌年3月13日(日)の音楽コンクール本選までの期間となる。

各事業の詳細は次のとおり。

事業種別	事業名	期日	会場等
展示関係事業	華道展	9月25日(土)～9月28日(火)	せんだいメディアテーク
	書道展	9月25日(土)～9月28日(火)	せんだいメディアテーク
	写真展	10月2日(土)～10月5日(火)	せんだいメディアテーク
	彫刻展	10月2日(土)～10月5日(火)	せんだいメディアテーク
	絵画展	10月9日(土)～10月12日(火)	せんだいメディアテーク
	工芸部	10月28日(木)～11月1日(月)	TFUギャラリーミニモリ
演奏関係事業	長唄演奏会	10月10日(日)	トークネットホール仙台
	音楽会	11月12日(金)	日立システムズホール仙台
文芸関係事業	文学散歩	未定	未定
	「宮城県文芸年鑑」発行	10月15日(金)	750部発行
	文芸祭	10月23日(土)	東京エレクトロンホール宮城
人材育成事業	フォトサミット in Sendai 2021	10月2日(土)～10月5日(火)	せんだいメディアテーク
	絵画展(公募の部)	10月2日(土)～10月5日(火)	せんだいメディアテーク
	彫刻公募展	10月2日(土)～10月5日(火)	せんだいメディアテーク
	受賞者によるガラ・コンサート	9月26日(日)	仙台銀行ホール イズミティ 21
	第42回音楽コンクール	予選：令和4年2月13日(日)	日立システムズホール仙台
	【ピアノ部門・ヴァイオリン部門】	本選：令和4年3月13日(日)	
	写真セミナー	7月2・9・16日(いずれも金)	協会事務所

※1 茶道部による茶会は新型コロナウイルスの感染影響を鑑み、開催を見合わせる。

※2 例年と同様に仙台三曲協会定期演奏会、洋舞公演、歳末たすけ合い各流舞踊大会を芸術祭参加行事とする。

### (2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会などを鑑賞する機会を提供、人材の育成、各分野の裾野拡大を目的として、次のとおり各事業を実施する。

事業種別	事業名	期日	会場
鑑賞機会提供事業	(宮城県文化振興財団共催) 第58回宮城県芸術祭絵画展受賞者作品展	12月14日(火)～20日(月)	東京エレクトロンホール宮城
	みやぎミュージックフェスタ	未定	未定
人材育成事業	(日本舞踊協会宮城県支部共催) 宮城県こども舞踊大会	6月27日(日)	戦災復興記念館
	県民との美術交流・ギャラリートーク	10月9日(土)	せんだいメディアテーク
	(河北新報社共催) 第2回社のみやこ工芸展	10月28日(木)～11月1日(月)	TFUギャラリーミニモリ
	書道部による県内小中学校への講師派遣事業	11月～12月	県内小中学校
	(宮城県文化振興財団共催) 定禅寺フォトコンテスト	12月上旬	東京エレクトロンホール宮城
後援事業	(仙台三曲協会共催) 宮城県子供三曲演奏会	令和4年3月上旬	未定
	本年も「河北書道展」等に賞状や賞金等を提供するなど、本協会に申請のあった作品展や演奏会に対し、後援名義の承認、必要に応じた賞状や賞金等を提供する。(令和2年度承認実績：41件)		

※ 伝統文化体験事業として本協会と河北新報社との共催で茶道の普及啓発を目的に例年開催している社の都大茶会は新型コロナウイルスの感染影響を鑑み開催を見合わせる。

### (3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

国内外の芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、交流協議及び事業を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期日	会場
東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業	東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業	6月17日(木)	メトロポリタン盛岡ニューウイング

※東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業：本年度担当幹事地区は岩手県。オンライン会議等で対応する可能性がある。

### (4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

本協会会員や多くの県民に参加の機会を提供する研修事業と、協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るための発行物の刊行を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期日	会場等
会員研修	講演会(講師：熊谷達也氏)	6月12日(土)	仙台市福祉プラザ
発行	機関紙「はなやま」刊行	年4回発行(5・7・11・1月)	

※研修旅行及び絵画部スケッチ研修会は新型コロナウイルス等、諸般の事情により開催を見合わせる。

## 令和 3 年度正味財産増減予算書

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

科目	公益目的事業会計					収益事業等 会計	法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000
受取入会金	0	0	0	500,000	500,000	0	500,000	1,000,000
受取会費	0	0	0	12,050,000	12,050,000	2,308,885	7,601,115	21,960,000
事業収益	7,902,000	1,682,000	0	0	9,584,000	0	0	9,584,000
受取補助金等	200,000	130,000	0	0	330,000	0	0	330,000
受取負担金	14,391,000	500,000	0	0	14,891,000	0	0	14,891,000
受取寄付金	90,000	40,000	0	0	130,000	0	0	130,000
雑収益	290,000	0	0	0	290,000	0	0	290,000
経常収益計	22,873,000	2,352,000	0	12,551,000	37,776,000	2,308,885	8,101,115	48,186,000
(2) 経常費用								
事業費	31,310,473	5,438,642	1,139,000	0	37,888,115	2,308,885	0	40,197,000
管理費	0	0	0	0	0	0	7,639,000	7,639,000
経常費用計	31,310,473	5,438,642	1,139,000	0	37,888,115	2,308,885	7,639,000	47,836,000
当期経常増減額	△8,437,473	△3,086,642	△1,139,000	12,551,000	△112,115	0	462,115	350,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	8,437,473	3,086,642	1,139,000	△12,201,000	462,115	0	△462,115	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	350,000	350,000	0	0	350,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	45,694,744	45,694,744	0	0	45,694,744
一般正味財産期末残高	0	0	0	46,044,744	46,044,744	0	0	46,044,744
II 指定正味財産増減の部								
一般指定財産への振替額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
当期指定正味財産増減額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
指定正味財産期首残高	40,000	0	0	0	40,000	0	0	40,000
指定正味財産期末残高	10,000	0	0	0	10,000	0	0	10,000
III 正味財産期末残高	10,000	0	0	46,044,744	46,054,744	0	0	46,054,744

公益目的事業会計事業費 (A)	〔全体〕 経常費用計 (B)	公益目的事業比率 (A/B)
37,888,115	47,836,000	79%

皆さんよろしく

新年度がスタート。新入会員の多くを迎える心躍る時季である。今春、9部門、45人(名簿は3面に掲載)が志も高く、仲間に加わった。協会を取り巻く環境が大きく変化し、先行きの見通しを立てにくい状況にある中、積極的かつフレッシュな感覚で新たな希望の風を吹き込んでくれるに違いない。震災から10年、コロナ禍も重なり、協会は転換期に必要な局面にもある。

節目の時、最前線での活躍が大いに期待される新会員を代表する形で16人に入会のいきさつ、抱負等のコメントを寄せてもらった。なお、寄稿をお願いした方々については、会報の編集委員会が部門、性別、住所地等を勘案しつつ、決めさせていただいた。

(敬称略)

希望の星  
新風期待

新入会員の  
談話紹介

入会の推薦をいただき、長年の師に対する感謝の思いでいっぱいです。思い返せば、岩絵具を溶く、スケッチをする事が楽しく、心が落ち着く時間でした。高齢の新入りですが、皆さまどうぞよろしく願っています。

(絵画部 小山まり・仙台市)

日本画を始めて10年。今回、30号の作品に初挑戦、初出品で奨励賞を頂き、仲間に入れていただき、事、感慨深く身の引き締まる思いです。入会を励みに今後も創作を楽しみつつ頑張りますので、よろしく願っています。

(絵画部 三村敦子・仙台市)

コロナ禍の危機感が、絵画制作に真剣に向き合うきっかけになりました。描く楽しさも満喫でき、公募展での受賞につながったのかもしれない。まだまだ未熟ですので、皆さま方の温かいご指導をお願いいたします。

(絵画部 渋谷いく子・仙台市)

10年ほど前に「毎日が日曜日」となり、週2回のボランティアと油絵に少々時間をかけてまいりました。絵は静物と風景が主ですが、今後は人物も描いていきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

(絵画部 松本俊隆・仙台市)

若い頃から仏像や人物を彫り、河北美術展等に出品してきました。現在、及川茂先生主宰の「啄木鳥塾」で学んでいます。今回、芸術祭に「生命」初出品し、協会賞をいただきました。これからよろしく願ひいたします。

(彫刻部 木村民男・石巻市)

粘土で獅子・龍像等の制作を手掛けております。入会にあたり、微力ながら、陶芸を通じて地域文化の向上に貢献していければ幸いと思ひます。これからご指導をどうぞよろしくお願ひいたします。

(工芸部 阿部繁夫・東松島市)

初めて立体の七宝焼を目にした時、その精巧さに驚き、変幻自在な色の美しさに感激したのが出合いです。一段上の事に挑む戸惑いもありますが、達成感が待っていると信じて更なる歩みを始めたいと思ひます。

(工芸部 佐藤美貴子・七ヶ浜町)

展覧会で諸先生や先輩方の素晴らしい作品を観て、いつかは自分もと思っております。今回、推薦を賜り入会させていただきました。ありがとうございました。これから会員として恥ずかしくない作品を出せよう一層励んでまいります。

(書道部 川口久美子・塩釜市)

書の道に入り33年目。いまだに誇れる作品を創りだせていません。研鑽を重ね斬新な作品を後世に残すべく、皆さまと切磋琢磨し、精進してまいります。還暦を迎え、協会の発展に貢献できるよう尽力する所存です。

(書道部 北野澤大雲・仙台市)

「宮城県文芸年鑑」の短歌作品を読ませていただき、内容の豊かさにすっかり魅せられてしまいました。このような質の高い活動環境の下、多くの刺激が待っているだろう予感にわくわくしております。よろしくお願ひいたします。

(文芸部 朝長スミエ・角田市)

協会の末席に加えていただくことになりました。浅学非才の身ではありますが、俳句を嗜む者として、皆さまのご指導を賜りながら、文芸活動を楽しみたいと存じます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

(文芸部 及川奈奈夫・登米市)

今までは芸術の世界を遠くから眺めるだけでした。芸術とは人間が持つ内面の無を有形にし、それにより人を豊かにする事と解釈しています。入会に感謝し、今後、他部門の表現方法を学び川柳作句に活かしたいと思ひます。

(文芸部 田村富夫・仙台市)

おいしいお茶を心静かに飲みたくて、(織田流)煎茶道の稽古をしています。一椀の茶にも文化と芸術の香りがします。素晴らしい協会に加えていただき、身の引き締まる思いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

(茶道部 樋口南佳・仙台市)

カメラマンをしております。学生時代から細々と続けていた創作活動が、このような形で実を結び、うれしい限りです。わたしらしい写真表現を追求していきたいと思ひます。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

(写真部 阿部和美・多賀城市)

仙台でデザイナーとして40年間、広告の仕事に携わり、趣味の一つであるカメラで公募展などに応募してきました。今回、思いもかけない会員になれた事はうれしく、より一層作品創りに力を入れていきたいと思ひます。

(写真部 伊藤邦彦・登米市)

写真を始めようと思つたのは、定年間近の冬の町の写真展を見た時でした。無趣味の自分にもピンとくるものを感じました。入会を機に新たな気持ちで創作に取り組みればと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(写真部 平田勉・岩沼市)

本年もよろしく

令和3年度、協会の活動を支えていただく賛助会員の皆さまを、ご紹介させていただきます。大半、継続して力添えを頂戴しております。改めて深い感謝とともに、今年もお願いいたしますと申し上げます。時代の変わり目、昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大もあり、芸術文化はそのありようの問い直しを迫られております。震災10年、再評価の動きも見られるものの、芸術家で組織される当協会は正念場を迎えているように思われます。皆さま方の変わらぬご支援に力と勇気をいただき、お知恵もお借りしながら、地域の芸術文化の振興という自らに課した使命を果たしてまいります。重ねてよろしくお願ひ申し上げます。

(平石隆子理事長談)

熱い応援 勇気百倍 活動支える 賛助会員

賛助会員(予定を含む)の皆さま(50音順、敬称略)
▽団体

- アサヒビール株式会社仙台支社
▽アストモスエネルギー株式会社東北支店
▽岩瀬薬品株式会社
▽SMBC日興証券株式会社仙台支店
▽ENEOS株式会社東北支店
▽ENEOSグループ株式会社東北支店
▽ENEOSTレーディング株式会社
▽MOA美術館仙台児童作品展実行委員会
▽M2メディアカル株式会社
▽株式会社オカムラ仙台支店
▽株式会社河北新報普及センター
▽株式会社北日本銀行仙台支店
▽キリンビール株式会社東北統括本部
▽クリエイトプランニング株式会社
▽クリオン株式会社
▽東北営業所
▽コクヨ東北販売株式会社
▽株式会社五葉商事
▽株式会社佐浦
▽株式会社サンエーテック
▽有明株式会社三陽興産
▽株式会社七十七銀行
▽医療法人社団初心会
▽ホスピタル・あおば
▽医療法人社団心々堂高橋眼科
▽クリニック
▽株式会社スズケン
▽北仙台支店
▽住友金属鉱山シボレックス株式会社
▽株式会社清泉
▽正和工業株式会社
▽一般社団法人仙台市医師会
▽株式会社仙台台銀行

- ▽損害保険ジャパン株式会社仙台支店
▽株式会社ダイフクプラスマア
▽大和証券株式会社仙台支店
▽竹田公認会計士事務所
▽株式会社タツノ
▽東北支店
▽ダンロップタイヤ東北株式会社
▽株式会社電通東日本
▽東京海上日動火災保険株式会社
▽株式会社東北プリント
▽同和興業株式会社
▽トキオシステムソリューションズ株式会社東北支店
▽学校法人常盤木学園
▽凸版印刷株式会社
▽東日本事業本部
▽株式会社南北社
▽株式会社日産サテイト宮城
▽ネットヨタ仙台株式会社
▽ネットヨタ宮城株式会社
▽ノアメディアカルシステム株式会社
▽株式会社バイタルネット
▽株式会社橋本店
▽ハリウコムニケーションズ株式会社
▽株式会社バンザイ
▽仙台支店
▽株式会社ビー・プロ
▽株式会社藤崎
▽富士ゼロックス宮城株式会社
▽ふじや千舟
▽ブリヂストンタイヤジャパン株式会社宮城カンパニー
▽株式会社マイナビ宮城支社
▽有明株式会社松尾弦楽器
▽魅知国定席花座株式会社
▽BBI
▽三井住友海上火災保険株式会社
▽株式会社三井住友銀行東北法人営業部
▽三井住友信託銀行株式会社仙台支店
▽株式会社三菱UFJ銀行仙台支店
▽三菱UFJ信託銀行株式会社仙台支店
▽宮城トヨタ自動車株式会社
▽未来テクノス株式会社
▽杜の都信用金庫
▽矢崎エナジーステム株式会社
▽株式会社ヤマハマミュージックリテイリング
▽仙台台店
▽株式会社ユニグラフィック
▽青葉画荘
▽有明社緑香園茶舗
▽輪王寺
▽株式会社ル・プロジェ

個人

- 愛知治郎
▽青木正
▽麻生靖子
▽安孫子南美
▽井ヶ田製茶株式会社
▽梅屋楽器店
▽株式会社

酒田市土門拳文化賞受賞 海老名和雄さん

当協会写真部の海老名和雄さん(仙台市)が、優れたアマチュア写真家の作品に贈られる第26回(2020年度)酒田市土門拳文化賞を受賞した。

世界的な写真家、土門拳の出身地、酒田市が写真文化、写真芸術の振興を目的に創設し、四半世紀の歴史を刻んだ賞。全国37都道府県の138人が145のテーマで応募した。海老名さんの作品は「恵みと試練―丸森 2019―」。県南部の丸森町の養蚕農家にレン

- えかきや
▽鹿野英生
▽上村貞子
▽川上伸昭
▽川上浩
▽菊田潔
▽菊地宏
▽菊地禮蔵
▽ギヤラーISHUGEN(佐々木欧舟)
▽小室照枝
▽後藤東陽
▽西條麗子
▽佐藤進
▽白鳥良一
▽鈴木真由美
▽高橋勲
▽高橋正衛
▽丹野光明
▽千葉昭吾
▽中国料理東龍門
▽西井陽子
▽西川玉林堂
▽畑山みさ子
▽原也寸志
▽晩翠画廊
▽眞砂宏
▽松枝稔
▽水野喜重子
▽守山邦楽器
▽矢部勇
▽よろづ園茶舗

ズを向け、台風19号被害にも触れつつ、カラー写真30枚組にまとめた力作だ。写真芸術の特性の一つ、記録性に優れているだけに、記録性は古里への温かいまなざしにあふれる。

元高校の英語教師で、カメラ歴は50年。第22回(2015年度)の同公募展でも「産土(うぶすな)」と震災で奨励賞を受けている。記録性を礎として写真を極めた土門拳の名を冠した公募展での最高賞の受賞は、海老名さんにとって大願的な名誉に映る。深めた視点の確かさと地道な取り組みで磨いた技量が結実した形だ。

### 北斗45号発行 特集は後継者、次世代育成

当協会が加盟する東北・北海道芸術文化団体協議会は2月、機関誌「北斗」の45号を発行した。特集は「芸術文化活動の後継者育成と次世代育成に係る事例紹介」。今号は前編に位置付けられ、加盟7団体のうち北海道、青森県、岩手県、秋田県の実例を掲載している。

### 服役中の男を逮捕、起訴 元職員絡んだ事件急展開

当協会の職員だった鈴木裕子さん(当時43)が不慮の災難に遭い急逝した事件で、仙台南署捜査本部は2月25日、強盗殺人と住居侵入の疑いで宮城県

務所に服役中の37歳の男を逮捕。3月、仙台地検は被告を同罪で仙台地裁に起訴した。今後、裁判員裁判の法廷で裁かれることになろうが、協会を支えた職員が巻き込まれた理不尽な事件は、難航から急転直下、真相究明に向け大きく動き出した。

協会役員として故人と関わった雫石隆子理事長は「胸のつかえが降りた感じがします。心配りができ、業務にも忠実で本当に頼りになる人でした。あれから7年余り経過しましたが、いまだに『なぜ』の思いが消えません」と語り、進展に安堵しつつも無念の気持ちをにじませた。

会員一同、改めて協会発展に貢献した故人に哀悼の意をささげたい。

### 事務局日誌

#### 会務報告

- ・【第3回部長会議】1月18日
- ・令和3年度事業計画及び予算編成の方針について
- ・第58回宮城県芸術祭について
- ・【第5回理事会】3月22日
- ・令和3年度事業計画(案)及び取予算(案)について
- ・名誉会員の推薦について
- ・正会員の入会承認について
- ・賛助会員の推薦について

#### 後援

- ☆山田流箏曲喜音和会第二回演奏会 1月31日
- ☆仙台銀行ホールイブズミテイ21 仙台美名子フェルトセンスアート展
- ☆2月19日、28日 美里町近代文学館
- ☆第5回緑彩会日本画展 2月23日、28日
- ☆東北電力グリーンプラザ 美里町「河北展」「杜のみやこ工芸展」
- ☆3月3日、14日 美里町近代文学館
- ☆第6回宝梅会 4月25日
- ☆電力ホール
- ☆第66回全国公募東北書道展 5月14日、19日
- ☆「せんだいメディアアテーク 田原さえの世界Ⅲ」想い」 5月29日、6月5日
- ☆Ni oval 音楽サロン(仙台) 7月4日
- ☆代官山教会(東京)
- ☆群峰展(大和小舟米寿記念) 6月11日、13日
- ☆ナリサワカルチャーギャラリー 第39回板橋健独唱会(声による表現の可能性を求めて)

- 6月12日 仙台市戦災復興記念館
- ☆鈴木麻由子ソプラノリサイタル 紫陽花のころに vol.3 6月25日
- ☆宮城野区文化センター
- ☆第30回記念宮城欄現会展 7月2日、7日
- ☆せんだいメディアアテーク
- ☆第66回全国公募 南書道展 7月9日、14日
- ☆せんだいメディアアテーク
- ☆第55回チャールズ会仙台展 7月9日、14日
- ☆せんだいメディアアテーク

#### 会員の入賞・入選など

- ◇FACE2021
- ▽入選 岩澤誠一
- ◇第21回日本詩人クラブ詩界賞特別賞
- ◇西田朋著『鈴木梅子の詩と生涯』
- ◇第59回日本現代工芸美術展
- ◇現代工芸賞 桑原リエ
- ◇第5回新日春展
- ▽入選 奥山和子

#### 受贈書

「大震災の俳句―俳句に見る東日本大震災とその後の十年―(きたち俳句会)、『歌集 白鳥のこゑ』(新沼せつ子)、『人生は哀しみだらけⅡ』(汐海治美)、『南三陸 海浜の記憶』(近江静雄)

#### 謹弔

- 工芸部(染織) 櫻井富久子 殿 1月29日
- 文芸部(俳句) 平間彌生 殿 3月9日
- 絵画部(洋画) 成瀬忠行 殿 3月10日
- 邦楽部(長唄) 杵家弥登英 殿 3月11日

### 会費納入のお願い

新年度を迎えましたので、令和3年度会費の納入をお願い致します。自動振替の会員は、今年4月30日(金)に引き落としを行いましたので、指定口座をご確認願います。郵便振替をご利用の会員は、同封の振替用紙で5月31

日(月)までに納入願います。なお、現在郵便振替をご利用の方は、事務処理上の都合により、できる限り自動振替(手数料は協会が負担)への切り替えをお願い致します。手続きにつきましては、事務局に気軽にご相談ください。

### けやきの譜

震災から10年。今後の課題がまだ山積みされたまま。問題の第一は生活の本当の意味での再建ではないだろうか。原発事故は収束の目処さえ立っていない▼こうした中、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛期間が2年目という異常な状態が続く。仙台を中心に宮城県でも急速に広がり、3月末には1日で200人以上の陽性者が確認されるなど、一時10万人あたり感染者が全国ワーストワンに。まん延防止等重点措置も適用され、昨年より事態は深刻だ▼期待のワクチン導入も遅れが目立つ。接種率が先進国最低の中で、一向に感染の終息が見通せず、もどかしさが宙づり状態だ▼文化も厳しい局面にある。それだけに工夫しながら活動は続いているが、フェイス・ツー・フェイスの関係が薄れていくことに、大きな危機があるように思えてならない▼芸協の定時総会も、厳重なコロナ対策の下、2年ぶりに開かれる方向だ。多くの事業がコロナの影響を受けているが、こうした時代だからこそその事業の実現を期待したい。(英)